

HOT! NEWS

2

国際生、2年ぶりに 全日本模擬国連大会に出場決定!

この度、名古屋国際高等学校は2年ぶり5回目の全日本模擬国連大会出場が決まりました。模擬国連とは国際問題について正確に理解し、その解決策の探究を促進することを目的としています。参加者にはそれぞれ担当国を与えられ、一つの国際問題について、その国の大使の立場としての政策を立案し、その議案を作成します。

本校からは中高一貫4年生の横井葉月さんと中高一貫5年生の小島実祐さんの2人が出場します。今年の国際問題のテーマは「武器移転」です。テーマも与えられた担当国も非常に難しいものになりますが11月17日(土)、18日(日)の本選に向けて準備をしています。

また、本選の前に2人は灘高等学校で行われた模擬国連大会の練習試合に参加をしました。テーマは「武器貿易条約の決議」についてです。条約に賛成や反対などさまざまな意見が飛び交う中で、積極的に話し合いに参加ができたと思います。しかしながら、まだまだ本選までにやらなければならない課題ができました。限られた期間にはなりますが、出来る限りの準備をしていきたいと考えています。



▲横井葉月さん (中高一貫4年)



▲小島実祐さん (中高一貫5年IBDP生)

HOT! NEWS

3

愛知県庁と栗本学園が締結

革新的サービスや新市場を生み出す
スタートアップに関する協定

愛知県と東海地方の大学や大手企業などが協力して、新たなビジネスモデルや新技術を用いた商品を生み出すスタートアップ企業の創出、アントレプレナーの育成を目的とした「あいちスタートアップ戦略」が10月31日に名古屋大学ナショナルイノベーションコンプレックス(NIC)にて大村愛知県知事により発表され、本学はスタートアップ・エコシステム形成について愛知県庁と連携する協定を締結しました。

愛知県は1977年以来、神奈川県を抜いて40年連続日本一を誇り、自動車、航空宇宙、ロボットをはじめとするモノづくりの世界有数の一大拠点を築いてきましたが、今後、愛知県の主力となっている自動車産業が、電動化、自動運転、コネクテッド、シェアリングなどの広がりの中で、100年に一度の大変革期を迎えることが想定されています。

これを受けて愛知県が、従来の愛知県の産業構造の変革に拍車をかけていくことを想定し、愛知県の産業経済が新たなビジネスチャンスを獲得し、新事業領域へと転換していくためには、絶え間ないイノベーションの創出が絶対的な条件であると考え、スタートアップを起爆剤とするイノベーションの創出を目指す方針を決定したものです。

本学は、人材発掘および育成として名古屋商科大学ビジネススクール、自動運転やドローンなどを活用した先進技術の実証実験エリアサイトとして名古屋商科大学(日進/長久手キャンパス)、優秀かつ成功しているスタートアップ企業を世界から愛知県に誘引する施策の流れ(インバウンド)の視点で、海外からのスタートアップ企業の子女への教育の場として名古屋国際中学校を含む中等教育部門が貢献する予定です。

THE FRONTIER TIMES Report ②

「第15回 日本の次世代リーダー養成塾」に参加しました。



▲鬼頭英都君 (中高一貫5年IBDP生)

僕は、7月26日から2週間「第15回 日本の次世代リーダー養成塾」に参加しました。今年3月にオーストラリアから日本に帰国することが決まり、日本で初めての夏休みでした。そこでボランティアやセミナー等に参加しようと考え、リーダー養成塾のホームページを見つけ、興味を持ったことがきっかけです。リーダー養成塾では、日本や世界で様々な分野で活躍する一流の講師陣から、学問の楽しさや人としての生き方があるべきかをテーマに講義をしていただきました。特に印象に残っていることは、元国連事務次長 明石康先生、日本こどもみらい支援機構代表 武藤杜夫先生、防衛大学校長 國分良成先生の講義です。日本全国とアジア諸国から集まった180名の高校生と、日本を代表する企業から派遣された社員と共に合宿生活を送りました。基本的な生活習慣を身につけながら、話を聴く能力を養い、議論を重ね、自分の将来や日本と世界の未来を考え、どう生きるべきかを考える時間を過ごしました。

180名のうちのほとんどが参画県卒の推薦で参加していましたが、愛知県は参画県ではなかったため僕は一般公募枠の60名に応募しました。一次試験を突破する為、2ヶ月かけて志望動機やプロフィール作成、自己

分析書、推薦書書類の準備をしたことが大変でした。面接は東京から面接官がいらっやるとのことでも緊張しましたが、無事合格することができました。合宿中には全塾生を代表し、マレーシアのマハティール・ビン・モハマド首相と会話をさせていただく機会に恵まれ、特別な思い出ができました。

全国から集まった参加者とは今後も頻りに連絡を取り合っています。皆個人的に積極的に彼らから学ぶことは多いです。このような出会いがあったことがリーダー養成塾に参加してよかったと思う一番の理由です。

10月22日には「第65回 国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール」に愛知県代表として出場しました。全国から予選を勝ち抜いた24名の弁士が東京 表参道にある国連大学に集まり、スピーチをしました。僕は「日本国内における持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、今、私達ができること」というテーマでスピーチをしました。模擬国連を目指し準備をする過程でこのコンクールの存在を知り、挑戦することにしたことがきっかけです。スピーチの練習はもちろんです、原稿を書く為に国連や世界の現状を調べ、まとめる作業と何を提案すべきかを考えることが大変でした。苦勞の甲斐あって立派な舞台に立つことができ、世界の平和の為に全国各地の高校生が思いを巡らせ様々なことに挑戦し、活発に活動していることを知り、感動しました。

リーダー養成塾も高校生の主張コンクールもよりよい未来を作りたいという学生の集まりでした。フロンティアスピリッツを基軸にグローバルリーダーを育成することを目標としている名古屋国際で学んでいるからこそ、後輩たちにも今後ぜひ挑戦してほしいと思います。



▲リーダー養成塾参加者集合写真

発行 名古屋国際 中学校
NAGOYA INTERNATIONAL JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL
所在地 〒466-0841 名古屋市中区広路本町1-16
発行年 年間4回

制作 学校法人栗本学園
名古屋国際中学校・高等学校
学内広報チーム
デザイン cluch on cluch Co., Ltd.
企画協力 株式会社 イーブレイン

TIMES 設置配布協力先
名古屋国際中学校・高等学校事務局前/名古屋商科大学 地域活性化研究センター/名古屋商科大学 中央情報センター

広報紙「THE FRONTIER TIMES」に関するご意見・ご感想は ft@nihs.ed.jp までお送りください。本紙に掲載されている記事、画像など全てのコンテンツの著作権は名古屋国際中学校・高等学校に帰属します。私的使用以外の目的で複製・複製することはできません。
201811163000

THE FRONTIER TIMES

【フロンティア・タイムズ】



▲エコール・ポリテクニークの学生と本校アトリウムにて集合写真

L'X Visits Nagoya Again!

The École POLYTECHNIQUE (also known as L'X), France's top engineering university, founded in 1794 by the mathematician Gaspard Monge, becoming a military academy under Napoleon Bonaparte, visited Japan this year again. The POLYTECHNIQUE is a very competitive academy, reputed to enroll the most outstanding students in France, the future leaders of the nation. The POLYTECHNIQUE was ranked this year by TIMES as the #2 university among small universities in the world (only behind Cal-Tech). Part of their curriculum is that every student must join a sport, including martial arts. Every two years the POLYTECHNIQUE Judo team visits Japan as part of their partnership with key Japanese universities.

The POLYTECHNIQUE Judo Team spent two days in Nagoya this year. After spending their first day relaxing at Will Aichi and sightseeing around Nagoya Castle on Sunday (Oct. 28), the Polytechniciens students, together with IB students from NIHS, visited the Toyota Motomachi Plant, and the Toyota Car Museum on Monday (Oct. 29). At the plant, the Polytechniciens students had the opportunity to learn how Toyota uses AI and automated robotics in order to build the key components of some of its famous car brands. The Toyota Car Museum, displaying Toyota's futuristic technology, was also a good scientific tour for the French engineering students.

In the afternoon, the polytechniciens toured the building facilities of NIHS and

participated in a friendly Judo match competition at the NIHS gymnasium, together with NIHS students and students coming from a neighboring university (NUCB).

In the evening the Polytechniciens students were welcomed to a banquet at the Nagoya Bankers Association Club, where they exchanged gifts with the hosts of the event. The POLYTECHNIQUE students expressed their heartfelt thanks for the hospitality of the Japanese people, and their Judo team will continue their trips to Japan, Nagoya and NIHS in the future.

We are looking forward to their next visit in 2020.

À la prochaine! ☺